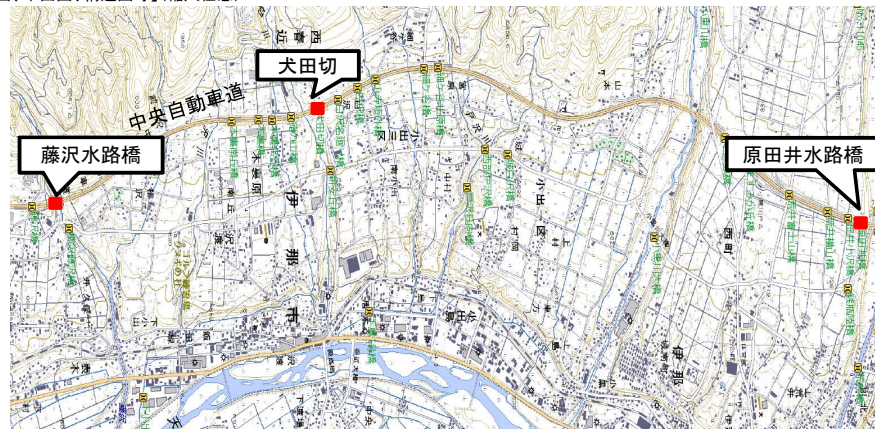


(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営農村地域防災減災事業(水路等の補強)		路河川名等			
事業毎の通番		1	市町村名	伊那市	箇所名(ふりがな)	伊那(いな)	
事業概要	事業目的	本施設は昭和48年から49年にかけて建設された、中央自動車西宮線を東西に跨ぐ水路橋3橋で、合わせて54.6haの農地を灌漑する施設であり、地元土地改良区や地元集落により維持管理されている。それぞれの水路橋の水路内壁面や底面及び躯体が剥離している状況がみられる。 本施設に事故が発生した場合、用水の供給停止による農業被害のほか、中央道を通行する車両・人命への被害や、広域運輸に対する甚大な被害が予測されるため、本事業による施設の補修を実施したい。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業(自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産)		事業実施の根拠法令等	土地改良法		
	関連する事業、計画等						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象:中央自動車西宮線 受益対象:農地A=54.6ha					
	着手年度	平成28年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.5	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	水路橋耐震補強整備 N=3橋			250,000	137,500	20,000 83,000 9,500
	28年度事業内容(主な工種)	水路橋耐震補強整備 N=1橋			70,000	38,500	5,600 23,000 2,900
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害防止効果(公共資産) 中央自動車西宮線への被害防止				
		間接的効果(定量的・定性的)	災害防止効果(農業) 水路破損により下流受益へ用水供給が出来ない被害を防止				
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人家戸数 : なし ○ 公共施設数 : 中央自動車道 ○ 農地面積、農業用施設 : 受益面積54.6haの水路 ○ 要配慮者利用施設等の有無 : 有(重要施設) 				評価	B
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 依存度 : 依存度 大 ○ 受益面積 : かんがい面積54.6ha ○ 地域防災計画上の位置づけ : 伊那市地域防災計画 				評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 費用便益比(B/C) : 1.51 ○ 事業期間 : 3年間(H28~H30) ○ 工法等の比較検討 : H26年度工法検討実施 				評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水路の状況 : 要耐震補強 ○ 過去の被災履歴 : 3件程度剥落危険箇所あり ○ 応急対策の実施状況 : 応急対策実施中(剥落危険箇所応急補修) 				評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業情報の共有 : H25年11月に水路管理者、受益者に事業説明会を実施 ○ 地域の取り組み : 事業内容の理解について積極的な取り組みあり ○ 地域の合意形成 : H25年11月の説明会時に事業計画に対する合意形成が図られている ○ 住民との協働 : 水路の維持管理は水利組合が実施 				評価	A
	部意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	中央車を跨ぐ水路橋の老朽化が著しく、施設に異常が生じた場合、受益地への用水供給が断たれることや、高速道路の通行車両へ甚大な事故を招きかねないため、緊急性が高く、重要性も認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



水路側面のひび割れ



水路側面・底面の剥落

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本施設は昭和48年から49年にかけて建設された、中央自動車西宮線を東西に跨ぐ水路橋3橋で、合わせて54.6haの農地を灌漑する施設であり、原田井水路橋については原田井土地改良区、犬田切橋と藤沢水路橋については地元集落により維持管理されている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地域が維持管理する中で、それぞれの水路橋の水路内壁面および底面が剥離している状況や、躯体の剥落が見受けられ、事故が発生した場合の被害を懸念している。	
③事業説明等の経緯	受益者等地域住民が施設の安全性に対する懸念があり、事業に対して理解が得られている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	小黒川パーキングのスマートインター工事に伴い、近隣跨道市道橋の改修を平成28~29年度に予定しており、原田井水路橋はこの間に属しており、車線規制を同時に行うことで工事費を軽減することに繋がる。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	計画箇所は中央道の直上部であり、特に環境への影響はない事業内容となっている。	
⑥地域活性化への影響と配慮	かんがい用水を確保することで、安定した農業経営することができ、地域活性化につながる。	
⑦その他	特になし	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 東経:E